

「さいたま市小・中一貫教育」Plan The Next

平成24年度より実施している「さいたま市小・中一貫教育」については、小学校6年生が中学校を訪れて中学校生活を体験する「つぼみの日」など、各学校の創意工夫を凝らした取組により、いわゆる「中一ギャップ」の緩和に成果を上げてきました。

一方、今日に至るまでに社会状況が大きく変化したことや学習指導要領の改訂を受け、新しい時代に応じて、義務教育9年間を見通した教育課程の編成と指導体制の構築を一体的に推進することがこれまで以上に求められることになりました。これにより、児童生徒の発達段階に応じたきめ細かな指導を実現することで、今日的な課題に対応した授業の質の向上と学びの高度化を図っていきます。

小学校と中学校の学びの連続性を強化する、「さいたま市小学校教科担任制」の導入



小学校と中学校の学びの連続性を強化する中心的な手段として、「さいたま市小学校教科担任制」を導入します。小・中学校の教員が、これまでの指導に携わってきた学校種を超えて、連携・協働することで、小学校教員のきめ細かな指導力と中学校教員の専門性を生かした教科指導のベストミックスによる教育実践を推進していきます。

1学年3学級の場合【5・6年の教科の分担と専科指導の組合せ】

学級	教員	教科	国語	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	G.S
6年1組	A	国・図	A	G	C	B	専科	D	F	E	専科
6年2組	B	理科	A	G	C	B	専科	D	F	E	専科
6年3組	C	算・家	A	G	C	B	専科	D	F	E	専科
5年1組	D	国・図	D	G	F	B	専科	A	C	E	専科
5年2組	E	体育	D	G	F	B	専科	A	C	E	専科
5年3組	F	算・家	D	G	F	B	専科	A	C	E	専科
教務担当	G	社会									

「さいたま市教科担任制」では、高学年の子どもたちが、国・社・算・理・音・図・家・体・GSの9教科について教科担任から指導を受けることができます。また、学級担任による教科の分担を基本とし、専科教員による授業を合わせた形で実施します。

令和3年度より、準備の整った学校から導入し、令和5年度の全校実施を目指します。

義務教育学校の設置に向けて

義務教育学校設置のねらいは本市の教育の強みの伸長と弱みの解消で、教育の質の向上を図ることです。

様々な観点を踏まえて、地域の声を聞きながら、義務教育学校の設置に向けた検討を、令和3年度より進めてまいります。

12年間の学びの連続性を生かした学校教育



小・中・高等・中等教育・特別支援学校に加えて、義務教育学校を新たに設置することでこれまで以上に12年間の学びの連続性を生かした教育活動の充実が図られます！

さいたま市いじめ防止WEBシンポジウム

～ここから始まる本気のいじめ防止へ!Restart!～

市教育委員会では、毎年、市を挙げて、いじめ撲滅に向けた機運を高める目的で、いじめ防止シンポジウムを実施してまいりました。今年度は、新型コロナウイルス感染予防の観点から、WEB上で開催し、以下の内容について動画を配信いたしました。

①いじめ撲滅！スクールミーティング！

令和2年12月23日、教育長と市立中・高等学校の代表生徒15名で、「いじめを乗り越えるために私たちに何ができるか」をテーマにディスカッションを行いました。短い時間の中で、代表生徒からは、本音の意見が出され、いじめ撲滅に向けた本気の話合いが行われました。



②いじめ撲滅！メッセージ駅伝！

清水勇人さいたま市長をはじめ、さいたま市に縁のある方々や、各校の代表児童生徒からのいじめ撲滅に向けたメッセージを、一枚のポスター(右図)を嚆代わりにして繋ぐ、メッセージ駅伝を行いました。

御協力いただいた皆様からは、いじめ撲滅に向けた力強いメッセージを頂戴することができ、いじめ撲滅に向けての気運が高まる内容となりました。



YouTubeさいたま市公式動画配信チャンネルにて限定配信 (3月末まで)

教育長室の窓から

学校の臨時休業でスタートした本年度も残すところ一月余りとなりました。各学校では、「新型コロナウイルス感染症に対応したさいたま市学校教育活動実施マニュアル」等に基づき、適切に教育活動を進めていただき、ありがとうございます。また、地域や保護者の皆様の子どもの見守りと御支援に心より感謝を申し上げます。緊急事態宣言下での生活が続いておりますが、引き続き、感染の発生や感染拡大のリスク低減に万全を期していただきますよう、よろしくお願いいたします。

さて、本年度は、「さいたま市GIGAスクール構想」の実現に向けた環境整備を加速するとともに、各学校がICTを活用した学びの改革へと自走する仕組みづくりに向けた取組を推進しました。また、「さいたまSTEAMS教育」や「PISA型読解力」の向上を図る学習指導の充実など、Society 5.0時代を見据えた資質・能力の育成に向けて研究に取り組みました。加えて、全国初の試みとなる「教育DX」を推進するITスペシャリストとの協働をはじめ、大学や企業と積極的に連携し先進的な教育活動を推進するとともに、生涯学習においても感染症対策を講じながらワークショップや特別企画展などを展開してまいりました。

このような成果を踏まえ、令和3年度は、学びのパラダイムシフトに向けて歩み出す重要な一年と捉え、ポストコロナ時代を見据えたさいたま市教育の飛躍を期し、本市に生きる全ての人々の豊かな学びのために全力で取り組んでまいります。



令和2年度教育委員会表彰

今年度はコロナ禍にあることを踏まえ、「教育功労賞」「優秀教職員表彰」につきましては、令和2年12月24日(木)、教育研究所において、感染症対策を徹底した上で表彰式を行いました。また、「学校業務改善表彰」につきましては、令和3年1月22日(金)、市立学校校長研究協議会にてオンラインで表彰しました。



教育功労賞

教育行政・学校教育の振興発展に尽力し、その功績が特に顕著な5名の方を表彰しました。表彰者は以下のとおりです。

田中 民雄	大宮東中学校 校長
松井 聡	宮原中学校 校長
長島 庸夫	八王子中学校 校長
吉野 浩一	浦和高等学校・浦和中学校 校長
竹居 秀子	教育委員会生涯学習部 部長



優秀教職員表彰

資質に優れ模範的であり、学校教育における教育実践等に顕著な成果を上げている、7名の教職員と1校の教職員組織を表彰しました。表彰者は以下のとおりです。

常盤小学校	大澤 諭 (体育科)
つばさ小学校	湯沢 太一 (算数科)
美園北小学校	石山 友美 (学校保健)
大宮八幡中学校	加藤 順子 (家庭科・進路指導)
浦和中学校	鈴木 雅子 (学校給食)
浦和高等学校	後藤亜里紗 (家庭科)
大宮国際中等教育学校	
	ブラットリー ジョセフ シーマズ (国際バカレア)
浦和南高等学校	地域との連携・協働(コミュニティ・スクール)

学校業務改善表彰

特に推進したい学校業務改善の取組について、教職員による投票の結果、投票総数の最も多い学校を校種ごとにグッジョブ賞として4校を、他校が取り組んでいない特に推進すべき取組を実施した学校をナイスアイデア賞として2校を表彰しました。表彰校は右のとおりです。

グッジョブ賞	日進北小学校
	三橋中学校
	浦和南高等学校
	ひまわり特別支援学校
ナイスアイデア賞	美園北小学校
	大谷中学校

編集後記



教育委員会だより第19号はいかがでしたでしょうか。今後も、定期的に各課所室から、教育委員会の今を伝える情報を発信してまいります。
【第19号編集担当】 管理部教育政策室 048-829-1626